

# 小児の口腔科学

第2版

著 前田隆秀 朝田芳信 木本茂成 田中光郎  
土屋友幸 宮沢裕夫 渡部 茂

B5変型判 カラー 471頁 定価14,700円(本体14,000円+税)  
ISBN978-4-7624-1646-0

コアカリキュラムを軸に、分子遺伝学、児童虐待、諸外国の歯科事情など、最新の小児歯科情報を収載。全ページカラーによる多数の症例写真を掲載し、各ページに専門用語の解説とキーワードをピックアップしたサポート欄を設けた。最新の歯科疾患実態調査結果ほか、最新データ収載。



- |                          |                 |                            |
|--------------------------|-----------------|----------------------------|
| 第1章 小児歯科学とは              | 第7章 小児の齲蝕治療     | 第14章 心身障害児の歯科診療            |
| 第2章 小児の発育と栄養             | 第8章 小児の歯周疾患     | 第15章 小児歯科と遺伝性疾患            |
| 第3章 頭蓋顎顔面、歯列・咬合、<br>歯の発育 | 第9章 小児の外科的処置    | 第16章 小児歯科治療時に留意<br>すべき小児疾患 |
| 第4章 小児歯科治療システム           | 第10章 小児の歯の外傷と処置 | 第17章 諸外国の小児歯科<br>コラム       |
| 第5章 小児の臨床における対応          | 第11章 小児への虐待     |                            |
| 第6章 小児の齲蝕と予防             | 第12章 咬合誘導       |                            |
|                          | 第13章 小児の顎関節症    |                            |

乳歯ならびに永久歯の外歯の分類による処置法の目安を図 10-B-13、14 に示した。乳歯外歯の分類と処置法

永久歯外歯の分類と処置法  
→ p.314

図 10-B-13 乳歯外歯(乳歯、乳臼)の分類と処置法

▶上顎牽引  
〔方 針〕首輪性の反対咬合のなかでも、上顎の形成長の遅滞では、上下顎の歯軸的な不調和を解消するために上顎の後方への牽引が行われる(図 12-C-19)。

▶過量咬合の咬合準上  
〔方 針〕下顎の前歯が上顎の前歯に強く当たるほどの過量咬合では、咬合準上による咬合準上を行う。  
● 口腔習癖への対応  
p.36) 参照

▶永久前歯萌出位置の誘導  
● 歯列弓の拡大(図 12-C-20、21)  
〔方 針〕上顎中切歯、側切歯の萌出時に歯生、傾斜があり、前歯部のスペース不足が予想される場合、あるいは交叉咬合があらわれる場合は歯列弓の拡大を行う。このとき、分析によって第一大臼歯歯根の拡大が必要か否かを判断して、歯列弓全体の拡大とするか、前歯部のみを拡大とするかを判断する。  
上顎急速拡大装置  
上顎経路型側方拡大装置  
ツワドヘリックス

乳歯用の場合と同様

図 12-C-19 上顎牽引  
図 12-C-20 上顎急速拡大装置  
図 12-C-21 上顎経路型側方拡大装置  
「ファンタイプ」